



「前期を振り返って」

校長 おきはら 荻原 ひろし 洋

前期を振り返って、昨年度は、前期の授業日数の中で、蔓延防止等重点措置、緊急事態宣言が出ていなかったのは、21日でした。それを考えると、今年度は、制限がかからず感染症防止をしながら、学級閉鎖等の対応もなく前期の教育課程を無事に実施することができました。改めて保護者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

3年生にとって中学校生活最後の行事（生徒総会、体育祭、修学旅行等）の思い出をつくることができました。また、3年生がリーダーシップを発揮し学校を、1、2年生を引っ張ってくれました。感謝しています。

9月22日（木）昨年中止になった市総体駅伝大会が参加校を午前・午後の部に分かれて開催されました。男子は、3年生4名、2年生1名、女子は、3年生1名、1年生4名でそれぞれ5区間を繋いで、たすきをゴールに運ぶことができました。ここでも3年生が意地を見せてくれました。

9月30日（金）生徒会役員選挙立会演説会が開催されました。

昨年度は、立候補者、責任者は、体育館ステージで、一般生徒は、各教室の大型テレビで演説を聴きました（オンライン）。今年度は、立候補者と責任者はステージ上でマスクをはずして（演台にアクリル板を置き）演説を行い、一般生徒も体育館に集まり、全校生徒が揃い、対面式で実施されました。体育館には、緊張感が高まり、発表者、一般生徒も真剣に取り組んでくれました。

新しい生徒会本部役員が決定し、いよいよ3年生から2年生へバトンが渡されます。「世代交代」です。後期は、3年生は、卒業後の進路実現に向けて、1,2年生は、先輩からしっかり引き継ぎ生徒会活動等に取り組んでほしいと思います。

最後に保護者の皆様、今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、制限のある中ではありますが、教育活動を進めていきたいと考えています。これからも引き続き本校の教育活動にご理解、ご協力をお願いします。

ギャラリーさいわい 学校の風景を毎月お届けします。



9月30日に生徒会役員選挙が実施されました。7つの枠に8人が立候補し、それぞれの責任者（応援演説者）と合わせて16名が演台に立ちました。自分が役員として実行したいことなどを、自分の言葉で堂々と話すことができ、次のリーダーとして頼もしい限りでした。応援演説も同様に立派なもので、160人の小さな学校にこれだけの人材がいることを誇りに思う時間となりました。投票は例年通り、美浜区選挙管理委員会より国政選挙でも使用される投票箱や記載台をお借りし、投票開始時には最初の生徒によって投票箱が空であることの確認をするなど、可能な範囲で「本物の選挙」を模して実施しました。自分たちの学校を自分たちの力で動かしていくために、学年を越えて協力し、諸問題の解決などに向けて合意形成をしていく、つまり「自治」を学ぶのが生徒会活動の一つの側面です。本部役員だけでなく、会員＝全生徒が「自分事」として活動をより活発にする良いきっかけになればと思います。

表彰の記録

英語発表会 1年暗唱の部 第6位（2名）

千葉市小中特別支援学校総合展覧会 科学の部 入選3名

千葉市中学校総合体育大会駅伝の部 女子 午後の部20位

男子 午後の部16位（区間賞 1名）

青少年相談員連絡協議会標語コンクール 佳作2名

[教職員] 第71回千葉県美術展覧会（県展） 書道 奨励賞1名

午前・午後に分かれて半数ずつの学校が競技しました。区間賞は、午前も含めて最速のすばらしい記録でした！

コンクールに応募した3年生全員に参加賞をいただきました。

☆校内向けの記事を割愛して掲載しています。